

教育

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が5月25日時点でいったん解除されました。ただ、ウイルスとの闘いが終わったわけではなく、われわれ自身の生活を新しい生活様式に変容させていく中で、しばらく闘い続けていかなければなりません。今まで当たり前だったことが、当たり前ではなくなっています。そのことによるマイナス面は否めませんが、その状況の中でいかにしてプラス面を生み出すのか、それがわれわれに課せられた使命なのだと思います。

子どもたちの学習も含めた生活環境も同様です。私は子どもたちの成長には「経験値を増やすこと」が欠かせないと考えていますが、その機会は明らかに減らさざるを得ない状況です。人との触れ合いを通じて学べることの価値が非常に大きい子どもたちが友達や先輩後輩、先生といった家族以外の人々と接する機会をあらゆる場面で制限さ

新しい生活様式 学習環境も激変

57

受験の ココロ



中学入試編

は一つ一つの経験の「質を向上させる」ことが打開策になると考えています。

何事も、気持ちを込めることもなくただ単にしているだけであれば、そこから得られることは非常に小さくなります。質を向上させるには、一つ一つの物事に気持ちを込めて「意図を持って取り組む」ことが重要です。誰しも何となく通り過ぎただけ

経験の質、向上させよう

れるわけですから、残念ながらマイナス面は大きいでしょう。中学受験においても、机上の勉強以外の言語力や想像力や常識力といった人間力がより問われる傾向にある中で、机上の勉強ばかりさせられてしまう可能性が高い状況に、強い懸念を抱いています。成長につながる経験ができる機会の減少が物理的にやむを得ないのであれば、私

の経験はすぐに忘れてしまいますが、大きく心が動いた経験はずっと覚えているものではないでしょうか。一つ一つが限られた貴重な機会だからこそ、目標や目的を持ってチャレンジし、そこにやりがいや達成感を得たり、逆に悔しい思いをしたりすることがその経験の質を左右するのではないかと思います。非日常と言ってよい環境がし

ばらく続きそうです。だからこそ、その環境下で頑張ったことは心に残りやすく、成長につながる質の高い経験にできるはずです。日常なら流しがちなことに、気持ちを込めて意図を持って取り組むことで大きな価値を持たせるチャンスが生まれると考えていただきたいです。

(黒田耕平・希学園学園長)
◇第2日曜に掲載します。

6月14日神戸新聞分

気持ちを込めて。言葉では簡単、何政
行いの難しいのたろう。生きていく基礎力
とも言えるのでは。